

# MITSUBISHI

## 三菱電機リモート式コンデンシングユニット別売部品 オプションパネル(NP-150B)の取付要領 対応機種：ER-UB110・150SB

### ⚠警告

据付けは、工事説明書にしたがって確実にを行う。

- 据付に不備があると、冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。

電気工事業者によるD種(第3種)接地工事を行う。

- アースが不完全な場合は感電事故の原因になります。

配線は、所定の配線を使用して確実に接続し、端子台接続部に接続電線の外力が、伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると発熱・火災の原因になります。

安全装置・保護装置の設定値は変更しない。

- 設定値を変えると、ユニットの破裂・発火の原因になります。

気密試験は確実にを行う。

- 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。

冷媒漏れ時の限界濃度対策は確実に。

- 屋内や冷蔵庫へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を越えない対策が必要です。そのような場所に入る場合は、換気を十分に確認してから、入室してください。限界濃度を越えない対策については、弊社代理店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏れて限界濃度を越えると酸欠事故の原因になります。ガス漏れ検知器の設置をおすすめします。

据付けは、重量に十分に耐えうる所に確実にを行う。

- 強度の不十分な所に据付けると、ユニットの転倒落下により、ケガの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

ユニットの端子台カバー(パネル)を確実に取付ける。

- 端子台カバー(パネル)の取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。

- 混入すると冷凍サイクルが異常高温となり破裂・ケガの原因になります。

冷媒回路サービス時は、換気を十分に行う。

- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

冷媒ガスの漏れチェックは確実に。

- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが機械室内や冷蔵庫内に漏れ火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

保護装置を短絡して、強制的な運転をさせない。

- 短絡して強制的な運転を行うと、ユニットの火災や爆発の原因になります。

## 安全のために必ず守ること

- ご使用前にこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- お読みになったあとは、取扱説明書とともにいつでも見られる場所に必ず保管し、移設時に読み直してください。

### ⚠注意

漏電遮断器を取付ける

- 漏電遮断器が付けられていないと、感電の原因になることがあります。漏電遮断器は、ユニット1台につき1個設置してください。

排水工事を確実にを行う。

- 雨水・除霜水などが屋内に侵入し、周囲を濡らす原因になることがあります。

換気を行う。

- 万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になることがあります。

仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。

- 仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると、破裂・発煙・発火・漏電の原因になることがあります。

ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用する。

- 針金や銅線を使用すると火災の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に据付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

サービスバルブ操作時は、冷媒噴出に注意する。

- サービスバルブ操作時は、冷媒が噴出します。この時、冷媒を浴びたり、裸火に冷媒ガスが触れると、ケガの原因になります。

ファン及び板金エッジ部に直接手で触れないでください。

- 手を触れるとケガの原因になります。

必ず、裏面もお読みください。

WT04040X01

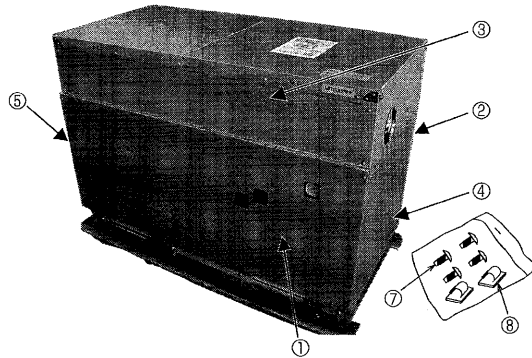
# MITSUBISHI

## 三菱電機リモート式コンデンシングユニット別売部品 オプションパネル (NP-150B) 取付要領 対応機種：ER-UB110・150SB

### 1. オプションパネルの構成部品

オプションパネルは、次の品物から構成されています。

	品名	内容数
①	フロントパネル	1
②	背面パネル	1
③	上面パネル	2
④	右サイドパネル	1
⑤	左サイドパネル	1
⑥	換気ファン用配線	1
⑦	パネル固定ネジ(M5×12)	46 (予備5個含む)
⑧	配線固定クランプ	4



### 2. オプションパネル取付要領

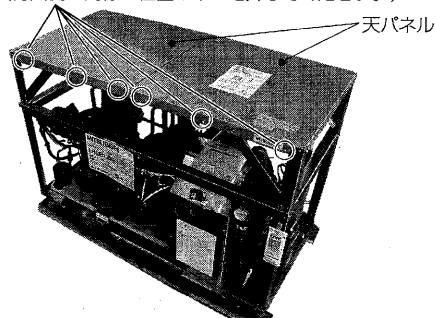
オプションパネルは、次の要領で取付けてください。

#### (1) 圧縮ユニットに取付けられている

**天パネル (2枚) を取外してください。**

ユニット前後の6×2箇所(2箇所)のネジを取外すと天パネルが取外せます。

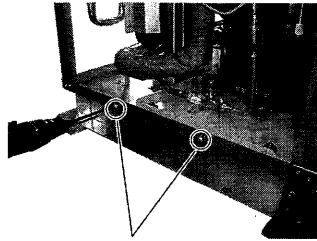
下図に示す箇所のネジを取外し天パネルを外してください。(背面側も同様の位置のネジを外してください。)



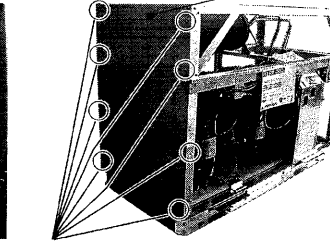
#### (2) 左サイドパネルを取付けます。

①まず台枠にネジを2箇所仮止めします。(左下図)

②左サイドパネルを取付け、8箇所ネジ止めます。(右下図) ⑤



台枠に2箇所付属のネジで仮止めします。



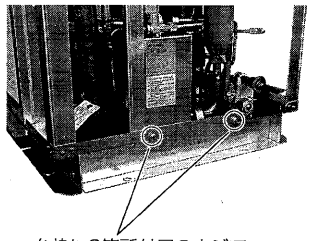
左サイドパネルを取付け後付属のネジにて8箇所(○印部)ネジ止めます。仮止めしたネジも本締めしてください。

#### (3) 右サイドパネルを取付けます。

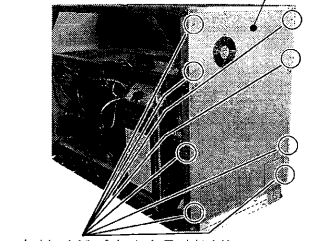
注。右サイドパネルには換気ファンが付いています。

①まず台枠にネジを2箇所仮止めします。(左下図)

②右サイドパネルを取付け、8箇所ネジ止めます。(右下図) ④

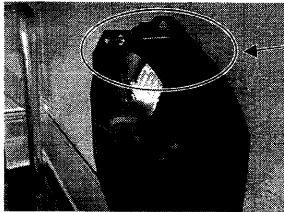


台枠に2箇所付属のネジで仮止めします。



右サイドパネルを取付け後付属のネジにて8箇所(○印部)ネジ止めます。仮止めしたネジも本締めしてください。

#### (4) 右サイドパネルに付いている換気ファンに換気ファン用配線を接続する。



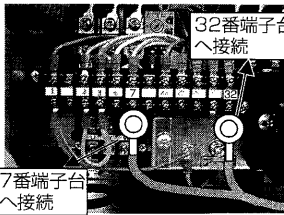
①左図のとおり換気ファンと付属の配線を接続してください。

②配線は付属のクランプを使用して制御ボックス内へ導入してください。

⚠ 配線は高温となる配管(吐出配管および液配管)および板金エッジ部と接触しないような経路で配線願います。

⚠ 制御ボックス内へ配線を導入する際にはトラップ等設け、水が制御ボックス内に伝わらないようにしてください。

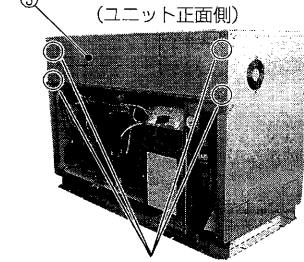
③配線は制御ボックス内の制御端子台7番と32番に接続してください。



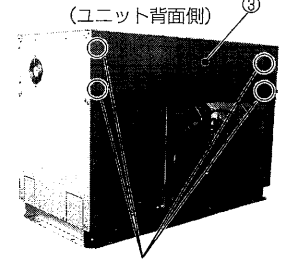
#### (5) 上面パネルをユニット前後に取付けます。

上面パネルをネジにて4箇所固定します。

正面側・背面側とも共通のパネルです。



付属のネジにて4箇所(○印部)ネジ止めます。



付属のネジにて4箇所(○印部)ネジ止めます。

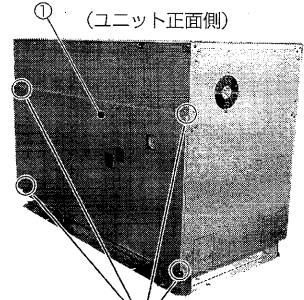
#### (6) フロントパネル・背面パネルをユニット前後に取付けます。

フロントパネル・背面パネルをネジにて固定します。

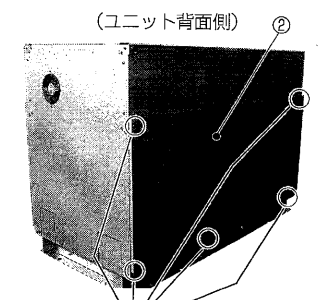
フロントパネルは4箇所ネジ止固定してください。

背面パネルは5箇所ネジ止固定してください。

正面側パネルには圧力ゲージ等が見えるように窓がついています。



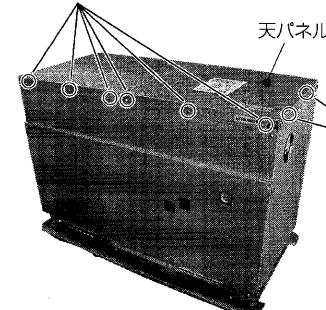
付属のネジにて4箇所(○印部)ネジ止めます。付属のネジにて5箇所(○印部)ネジ止めます。



#### (7) 取外した天パネルを取付けます。

天パネルはサイド・上面パネルの外側になるように被せ前後6×2箇所および側面2×2箇所をネジ止してください。

付属のネジにて6箇所(○印部)ネジ止めます。背面側も同一箇所ネジ止願います。



付属のネジにて2箇所(○印部)ネジ止めます。左側面側も同一箇所ネジ止願います。

必ず、裏面もお読みください。

WT04040X01